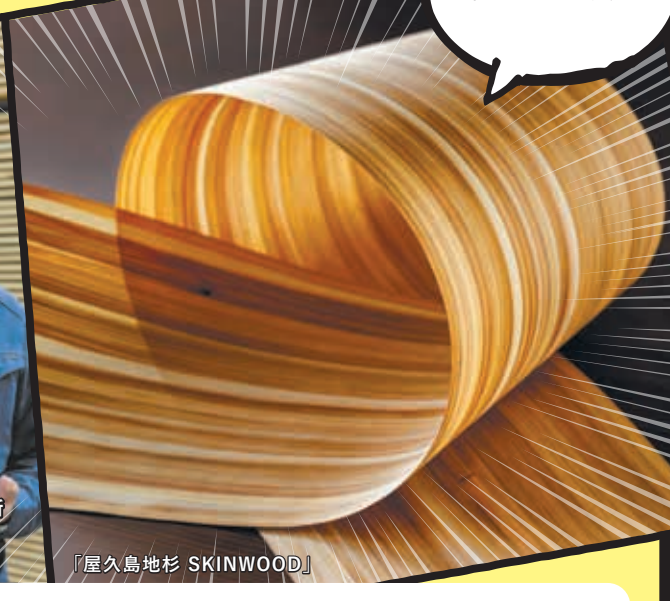
佐賀県は知的財産を

守り育て生み出していく！

特許編

株式会社 中村製材所
代表取締役
中村 展章さん



「屋久島地杉 SKINWOOD」

特許取得の環境配慮技術で SDGs達成や企業力強化を実現

SKINWOOD®

〈きっかけ〉
森林を守るための製品開発

1950年に創業した諸富町の中村製材所。三代目代表の中村さんは、環境に配慮した木材活用の道を模索してきました。

1990年代後半、森林破壊などの環境課題が世界的に深刻化。一方日本では海外木材の輸入が増え、国内木材自給率が20%まで低下したことにより、経済活動が厳しくなった事業体が増え、森林を管理する従事者が減少していきました。

森林を適切に管理し、木材を活用しなければ、地球環境保全、土砂災害防止機能や生物多様性保全などの多面的機能が維持できなくなります。そのことに危機感を抱いた中村さんは、森林資源の事を考えた製品の開発に着手しました。

〈進展〉
特許には専門家の総合的判断が不可欠

製品開発を進める中で、INPIT佐賀県知財総合支援窓口に相談。特許や商標登録を活用して、知財経営を本格的に進めることを決意しました。適切に管理された人工林から森林保全のために伐採される小径木を重ねてスライスすることで、大径木と同様のまっすぐで美しい模様を表現できる極薄突板の製造技術を特許出願し、「SKINWOOD®」として商標出願を行いました。

小径木で広く均一な柾目（まさめ）を実現する「SKINWOOD®」

「どの技術が特許に該当し、他社の技術を侵害していないかを専門家に調査してもらうことをはじめ、総合的な支援を受けました。特許出願の必要性やビジネスとしての勝算、販売戦略を専門家と慎重に見極めていく過程こそが、知財経営において最も重要です」と中村さんは話します。

「SKINWOOD®」は、環境性能、デザイン性、生産性を兼ね備え、様々な家具・建築ニーズに対応。これまで、「JINSゆめタウン佐賀店」や佐賀県庁来賓室、福岡の会員制図書館「BIZCOLI」などに採用されました。

鹿児島県屋久島町　地杉立木
（適切に管理された人工林）

また、地域の木材を原材料にでき、その土地に根差した活用が可能です。最近では、屋久杉を使用した「屋久島地杉SKINWOOD」を製作するなど、「SKINWOOD®」は、さまざまな地域で地域に寄り添ったものづくりを実現することができます。

〈展望〉
特許取得を経営戦略につなげる

「特許を取得することで、製品・技術の権威性が高まり、企業の信頼性が向上します。これにより、地方の小規模企業でも大手企業と対等に取引できる力を持つことが可能になります」と中村さん。現在は、研究機関の協力を得て、「SKINWOOD®」の品質を更に高める研究開発を進めており、近々特許を出願予定。

特許を経営戦略の一環として活用したさらなる展開に期待が高まります。

佐賀ヒノキを用いて施工された
「JINSゆめタウン佐賀店」の店内内装

INPIT佐賀県知財総合支援窓口
支援担当者の皆さん

SDGsの観点から森林の保護に貢献する活動の成果として、自社技術での特許取得を果たされました。知的財産権の活用については知財総合支援窓口にご相談ください。

知的財産に関する悩みや疑問はこちらまで
相談無料　秘密厳守
INPIT佐賀県知財総合支援窓口
☎0952-41-9322
営業時間：平日9:00～12:00 13:00～17:00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
佐賀県内の相談・支援事例をご覧いただけます。

「佐賀県知的財産を大切にし、みんなで守り、育て、新たに生み出す条例」についてはコチラ。
佐賀県
佐賀県 知的財産　検索

次回は3/14(金) 掲載(予定)